

みずほCustomer Desk Report 2024/11/08 号(As of 2024/11/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	154.68
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.31	1.0732	165.68	1.2883	0.6568
SYD-NY High	154.71	1.0824	165.96	1.3008	0.6687
SYD-NY Low	152.70	1.0713	165.01	1.2877	0.6565
NY 5:00 PM	152.97	1.0803	165.18	1.2986	0.6681
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,729.34	▲ 0.59	日本2年債	0.5000%	0.0300%
NASDAQ	19,269.46	285.99	日本10年債	1.0100%	0.0300%
S&P	5,973.10	44.06	米国2年債	4.1942%	▲0.0696%
日経平均	39,381.41	▲ 99.26	米国5年債	4.1687%	▲0.1003%
TOPIX	2,743.08	27.16	米国10年債	4.3248%	▲0.1058%
シゴ日経先物	39,730.00	▲ 345.00	独10年債	2.4390%	0.0470%
ロンドンFT	8,140.74	▲ 25.94	英10年債	4.4990%	▲0.0620%
DAX	19,362.52	323.21	豪10年債	4.6480%	▲0.0360%
ハンセン指数	20,953.34	414.96	USDJPY 1M Vol	10.25%	▲0.69%
上海総合	3,470.66	86.85	USDJPY 3M Vol	10.67%	▲0.32%
NY金	2,705.80	29.50	USDJPY 6M Vol	10.46%	▲0.27%
WTI	72.36	0.67	USDJPY 1M 25RR	▲0.78%	Yen Call Over
CRB指数	286.20	4.76	EURJPY 3M Vol	9.71%	▲0.28%
ドルインデックス	104.51	▲ 0.58	EURJPY 6M Vol	9.79%	▲0.27%

東京	東京時間のドル円は154.31レベルでオープン。仲値にかけてドル買いフローが入り、154.71をつけた後はFOMCを前に上値重く、154円台前半で推移し、154.16レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.16レベルでオープン。FOMCを控えドル円は方向感ない展開。堅調な米株先物を横目に154.13まで上昇するも結局153.75レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2932レベルでオープン。正午に英中銀が予想通り0.25%利下げを決定し、先月の英予算案がインフレ圧力となる旨のペイリー総裁発言にわずかながらポンドは買われ1.2957レベルでNYに渡った。なお、本日スウェーデン中銀が0.50%利下げ、ルウェー中銀が据置きを、それぞれ決定した。いずれも予想通りの結果に為替への影響は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台前半でスタート。注目のFOMCの結果発表を控える中、ポジション調整と思われるドル売り地合いが重しとなり、ドル円は軟調な推移となり、153.75レベルでNYオープン。朝方に発表された米第3四半期単位人件費は予想を上回ったものの、同時に発表された米失業保険継続受給者数が予想より悪化した内容が嫌気され、米金利が低下幅を拡大する動きに追随し、152.90付近まで続落。午後はFOMCの結果発表が行われ、FRBは25bpsの利下げを決定し、政策金利を4.50% - 4.75%に引き下げる事を発表した。声明文で「インフレ率が持続的に2%に向かっているとの確信が強まった」との文言が削除された事や、続いて行われたパウエル議長が記者会見で「直近のインフレ統計は予想をやや上回っている」との発言を受け、一時153.50付近まで戻すも、買い戻しは長く続かず、その後152.70まで反落。売り一巡後は小幅戻し、152.97レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ・ドルは1.07台前半でスタート。リントナ・独財務相の解任を受け、来年の独債供給が増加するとの見方が強まり、独債売りの流れを受けた金利上昇に買いが優勢となり、1.0775レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と低下する展開が支えとなり、1.0824まで続伸。その後は買い一巡となり、1.0790まで反落。午後はFOMCの結果を受け、1.0768まで下落する場面もあったが、その後は1.08台に戻し、1.0803レベルでクローズ。

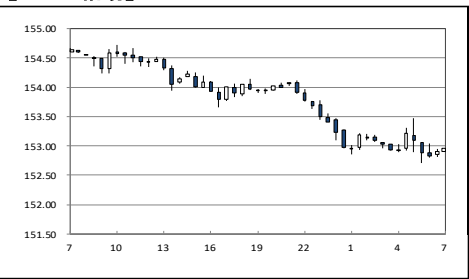
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月7日	09:30	豪 貿易収支	9月 A\$4609m	A\$5274m
	12:26	中 貿易収支	10月 \$95.72b	\$75.00b
	12:26	中 輸出/輸入(前年比)	10月 12.7%/-2.3%	5.0%/-2.0%
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 -2.5%	-1.0%
	16:35	欧 ストゥルナラス・ギリシャ中銀総裁 講演	「トランプ政権下の政策はECBの金融政策に影響がある」	
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	9月 0.5%	0.4%
	21:00	英 BOE政策金利	7-Nov 4.75%	4.75%
	21:00	欧 クノット・オランダ中銀総裁 講演	「地政学的緊張や貿易障壁の高まりが経済リスクを生み出す」	
	22:30	米 新規失業保険申請件数	2-Nov 221k	222k
	00:00	卸売在庫(前月比)・確報/卸売売上高(前月比)	9月 -0.2%/0.3%	-0.1%/0.1%
11月8日	04:00	米 FOMC政策金利(上限/下限)	7-Nov 4.75%/4.50%	4.75%/4.50%
	04:00	米 パウエルFRB議長 講演	「時間をかけてより中立的なスタンスへ移行している」	

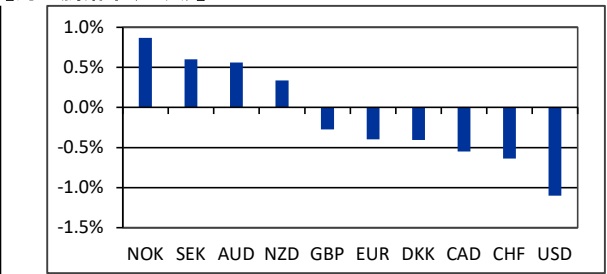
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月8日	14:00	日 景気一致指数・速報	9月 115.5	114
11月9日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	11月 71	70.5
	01:00	米 ボウマンECB理事 講演	-	-
	10:30	中 PPI(前年比)	10月 -2.5%	-2.8%
	10:30	中 CPI(前年比)	10月 0.4%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.50—154.00	1.0780—1.0830	164.50—166.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は下落。朝方の三村財務官による円安けん制発言によりドル円の上値は重く、東京時間は154円前半でもみ合い。海外時間では、FOMCが事前予想通り0.25%ポイントの政策金利引き下げを決定。米金利低下などを背景にドル安基調となるなか、パウエルFRB議長の会見前後でややボラタイルな動きを見せるも、結局153円を割り込んでクローズした。本日のドル円相場は、153円を挟んだ神経質な展開を予想。茲許続いた重要イベントがひとまず終了し、トラントレードも概ね一巡したとみられるなか、新規材料に乏しく動意は薄いと考えられる。但し、開票が進む米下院選挙において共和党の過半数議席獲得が確定した場合、もう一段のドル高進行となる可能性を意識しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。